

校庭の周りのヤマボウシの純白が、色濃くなった緑の中でひととき鮮やかに目立ち始める6月を迎えました。

先月の運動会では「熱くなれ！みんなで輝く運動会」という運動会テーマのもと、全校児童が最後まで全力を出し切り感動一杯の行事となりました。また、先日のPTA親睦ビーチバレーボール大会では、たくさんの保護者の方の参加で和気あいあいとして本当に楽しい時間を過ごすことができました。参加チームがすべて優勝の6年生保護者の皆さん、チームワークがさすがです。楽しむ時は本気で楽しむ保護者の皆さんのこうした

雰囲気、神石小の子どもたちの意欲を後押しして下さっているのだと改めて感じました。その意欲をもとに、神石小学校は先生も児童も共に自分を磨き続け、たとえ小さな伸びでも、その毎日の伸びを確かめ合いながら共に生きる子の育成にあたります。

ヤマボウシの純白部分は、真ん中の緑色の花を支えるガクの部分だそうです。神石高原町の町木ともなっている校庭のヤマボウシに囲まれ、67名は、今日も成長し続けています。



<校庭のヤマボウシ>

校長 爲平 祐嗣